

イズミヤ デイリーカナー トイズミヤ堀川丸太町店

- ☞ 所在地：京都市上京区堀川通丸太町下る下堀川町 146 番
- ☞ 業 態：スーパーマーケット
- ☞ 設置者：イズミヤ株式会社
(大阪市西成区花園南 1 丁目 4 番 4 号)
- ☞ URL：<https://www.izumiya.co.jp/>



＜地域・社会貢献に対する取組方針＞

イズミヤは経営指針のひとつとして、「地域に根ざした社会貢献活動を行い、信頼される企業市民を目指すこと」を掲げており、地域に密着した店舗づくりを目指しています。この指針のもと、デイリーカナー トイズミヤ堀川丸太町店においても、地域・社会貢献活動を通して、日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちを示していきたいと考えています。

◆地域・社会貢献の取組

①職場体験学習への協力

地元の就労支援事業者や中学校から職場体験の受入れを積極的に実施しています。

～働いた経験が、自信へつながる！～

◎市内事業者から職場体験の受入れ

当店では、就労支援事業者から職場体験の受入れを行い、発達障害のある方やコミュニケーションに不安を抱える方に実習の場を提供しています。

受入れに当たっては、障害の程度や性格等を考慮し、参加者に適した実習計画を練るようにしています。この職場体験を通じて、参加者が自身の強みを発見し、自信を付けていただくことを願っています。

また、子どもたちの職業観の醸成に向けて、地元の中学校の職場体験学習も受け入れています。

■取組のきっかけ

取引事業者を通じて、協力のお願がありました。協力させていただくことで、日頃から当店を支えていただいている地域への感謝の気持ちを示すことができればと思い、約2年前から受入れを開始しています。



■成果・効果（参加者・店舗の反応）

参加者からは、「コミュニケーションに不安を抱えていたが、お客様に声を掛けられても焦ることなく対応することができ、働くことに対して自信が付いた。」「時には周りの人を頼って疑問点を質問することは大切なことだと気づかされた。」など、前向きな意見を多数いただきました。当店でのご体験が就職につながったという話を聞くことも嬉しいです。

■今後の展開

今後もできる限り、受入れを続けていければと思っています。受入れに当たっては、従業員が一丸となって参加者が働きやすい環境を整え、少しでも有意義な経験を提供できればと考えています。この取組が参加者の将来の活動につながっていくことを願っています。

②充実したバス待ち環境の創出への協力

地域の方の安全と利便性を考え、店舗敷地内の一角にバスの待合スペースを確保しています。

～地域が喜ぶバス待ち環境を提供！～

◎市バス「バスの駅」の設置

店舗敷地内に「バスの駅」*を設置しました。市バス「堀川丸太町」バス停留所（西行き）が当店に面した歩道帯にあり、店舗周辺の交通安全や地域の方の利便性向上のため、店舗軒下に雨に濡れない待合スペースを確保してベンチシートを設置し、誰もが利用できるバス待ち環境を整備しました。

* 京都市交通局が推進する事業。より快適なバス待ち環境を創出するため、地域や民間事業者等に協力してもらい、店舗内や敷地内にバス待ちスペースを設置している。



■取組のきっかけ

オープン前の調査では、堀川丸太町バス停（西行き）は1日当たり4,000人を超える乗降客が見込まれていたことから、駐輪場とする予定だった一角をバス待ちスペースとすれば、地域の方の安全を確保でき、喜んでいただけたと考えたためです。特に丸太町通は車道や歩道が狭いので、敷地内に引き込むことで安全を確保できると考えています。

■成果・効果（利用者の反応）

店舗内に設置している「お客さまの声」に、御礼の手紙が寄せられたり、台風時などにベンチの撤去作業をしていると、「いつもありがとう」とのお声をいただくなど、地域の方に大変喜んでいただけていると感じています。

引き続き、地域の方が気持ちよく利用していただけるよう、管理をきちんと続けていきたいと思っています。



③地産地消に関する取組

地産地消を促進するため、店内に京都産の野菜を販売する「さんさん市場」を設置しています。

～京都産野菜を召し上がれ - 生産者の顔が見えます - ～

◎地産地消の促進（京都産野菜の取扱い）

近年、消費者の農産物に対する安全・安心志向の高まりや生産者の販売の多様化が進む中、消費者と生産者を結び付ける「地産地消」への期待が高まってきています。

京都は、古くから多種多様な野菜がその土地と気候で育まれ受け継がれてきており、栄養的にも優れたこれらの野菜は「京野菜」として京の食文化を支える重要な食材となっています。

当店においても、地産地消を促進することで、少しでも地域に貢献したいとの想いから、店内に「さんさん市場」を設置し、京都産の野菜の販売を積極的に行っています。



■取組のきっかけ

弊社では、地域の食文化の保持や地域経済の活性化等の観点から、地産地消は非常に重要であると考えており、地場産品の掘り起こしや各地で食べ継がれてきた郷土食にも目を向けた取組を進め、生産者の顔が見える厳選した地元産品を販売する取組を進めています。

■成果・効果（お客の反応）

「さんさん市場」コーナーの產品には固定客が付き、地元野菜の安心感や旬の味の良さを喜んでおられる方が多いです。また、時期によって並ぶ野菜が違いため、季節感も感じられることも魅力のひとつです。特に年配の方は、少し高くても地元産のいいものを欲しいという方が多く、ニーズに合った商品の提供ができていると感じています。



■今後の展開

今後も、生産者の顔が見える農産物の販売を継続し、地域の方に農産物の旬を伝えるとともに、美味しい食べ方などの提案もしていきたいと考えています。

取材者ひとこと

平成25年12月のオープン以来、利便性の高い立地や豊富な品揃えなどから、多くの地域の方に親しまれているデイリーカーナートイズミヤ堀川丸太町店さん。オープン当初から、敷地の一画をバス待ちスペースとして整備するなど、地域住民の安全や利便性を考えてこられました。今回紹介した「さんさん市場」には、里芋の一種で、大きな形とえびのような縞模様が特徴の「えびいも」などめずらしい京都産の野菜や季節ごとの旬な野菜が並んでおり、思わず手に取りたくなります。

今後も引き続き地域・社会貢献に積極的に取り組んでいただき、更に地域にとってなくてはならない店舗になっていくことを願っています。